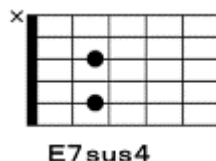
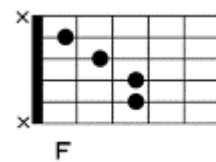
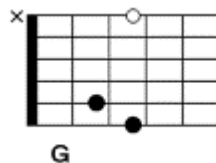
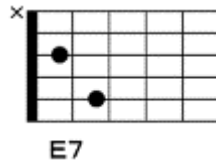
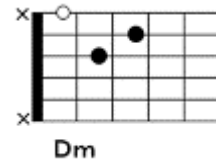
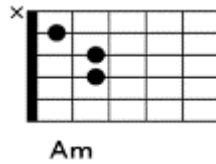


シクラメンのかほり「布施明」

作詞、作曲、小椋佳

Am Dm  
真綿色した シクラメンほど  
Am E7  
清しいものはない  
Dm Am  
出逢いの時の 君のようです  
G Am  
ためらいがちに かけた言葉に  
F Dm E7  
驚いたように ふりむく君に  
Dm Am E7 Am  
季節が 頬をそめて 過ぎて行きました

Am Dm  
うす紅色の シクラメンほど  
Am E7  
まぶしいものはない  
Dm Am  
恋する時の 君のようです  
G Am  
木もれ陽あびた 君を抱けば  
F Dm E7  
淋しささえも おきざりにして  
Dm Am E7 Am  
愛が いつのまにか 歩き始めました



Dm Am  
疲れを知らない 子供のよう  
Dm Am  
時が二人を 追い越してゆく  
Dm Am  
呼び戻すことが できるなら  
Dm E7sus4 E7  
僕は何を 惜しむだろ

Am Dm  
うす紫の シクラメンほど  
Am E7  
淋しいものはない  
Dm Am  
後ろ姿の 君のようです  
G Am  
暮れ感う街の 分かれ道には  
F Dm E7  
シクラメンのかほり むなしくゆれて  
Dm Am E7 Am  
季節が 知らん顔して 過ぎて行きました

E7 Am

(※くり返し ...惜しむだろ)